

令和5年度

教職員等環境教育・ 学習推進リーダー養成研修

～SDGs達成に向けた環境教育・ESD実践講座～

主催：環境省 協力：文部科学省



https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築を目指して、さらにはSDGsという世界共通の未来の価値を相互に磨き合う協働・共創を通して、学校や地域における質の高い環境教育・ESDを実践・推進するリーダー人材を育成することを目的に、本研修を開催します。

受講料
無料

研修内容

本研修では、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育・ESDにおける体験活動の実践力向上を目指す「プログラム・デザインコース」の2つを設けています。

カリキュラム・デザイン・コース

環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことにより、学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育・ESDを実践・推進していくリーダー人材を育成することを目的とした研修です。

内容

校種別（小中学校チーム、高校チーム）によるグループワークを実施します。オンライン形式では優良事例の紹介、意見交換等を行い、対面式では各教科等と関連させた環境教育・ESDの年間指導計画表（ESDカレンダー）を作成するための演習等を行います。

対象

学校関係者（小・中・高校等の教職員等）、教育委員会、地方公共団体など環境行政に携わる人

※詳細は中面を参照ください。

プログラム・デザイン・コース

持続可能な社会を構築するための取組と環境教育・ESDとの関係を、五感を使って体験し、多様な主体と共感を分かち合いながら、体験活動を企画・実践していくリーダー人材を育成することを目的とした研修です。

内容

事業者が提供している「体験活動」を実際に体験したり取組に携わる人と交流したりするほか、得られた気づきや学びを参加者同士で共有するためのグループワーク等を実施します。研修は「体験の機会の場合」及び国立公園において実施します。

対象

学校関係者、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、大学生大学院生等の環境教育・ESDや体験活動、地域づくりに関心のある人

講師（敬称略・五十音順）

～環境教育・ESDの実践・指導経験が豊富な講師陣です～



石田好広

目白大学 人間学部
児童教育学科 教授



岡本弥彦

岡山理科大学 教育推進機構
教職支援センター 教授



小澤紀美子

東京学芸大学
名誉教授



関口寿也

東京都多摩市立
蓮光寺小学校 校長



棚橋乾

全国小中学校
環境教育研究会 顧問



松井孝夫

尾瀬高校
活性化委員会 専門委員

カリキュラム・デザイン・コースでは、各回上記の講師数名ずつが参加します。

プログラム・デザイン・コースでは、上記講師の中から1名が同行し、環境教育・ESDに関するレクチャーを行います。

カリキュラム・デザイン・コース

内容

環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講義と校種別によるグループワークを実施します。オンライン形式では優良事例の紹介、意見交換等を行い、対面式では各教科等と関連させた環境教育・ESDの年間指導計画表〔ESDカレンダー〕を作成するための演習等を行います。

※事前学習として、講師による講義をYouTube動画にて事前視聴いただけます。
※研修受講にあたり、事前課題シートのご提出が必要です。

対象

- **集合型研修**
学校関係者（小・中・高校等の教職員）、教育委員会、地方公共団体など環境行政に携わる人
- **講師派遣型研修**
学校、教育委員会、地方公共団体など

集合型研修 ①(オンライン形式)

校種別（小中学校チーム、高校チーム）によるグループワーク（優良事例の紹介、意見交換等）を実施します。オンライン会議システム『Zoom』を使って開催します。

日時 7月2日(日) 13:00～16:00
9月17日(日) 9:00～12:00
定員 各回50名程度

集合型研修 ②(対面式)

校種別（小中学校チーム、高校チーム）によるグループワーク（各教科等と関連させた環境教育・ESDの年間指導計画表〔ESDカレンダー〕を作成するための演習、意見交換等）を実施します。

日時 7月31日(月) 10:30～16:00	日時 8月5日(土) 10:30～16:00
会場 ビジョンセンター 東京駅前 (東京都中央区)	会場 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター (滋賀県大津市)
定員 各回100名程度	

講師派遣型研修：全国から10か所を募集します

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して講義・グループワークを行います。環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講師派遣を希望する団体のニーズに沿う形で、研修の日程・内容等を調整します。既にESDカレンダーを取り入れている学校については、その評価手法など学校の進捗状況に沿った研修を行うこともできます。また、ホールスクールアプローチの向上にもつなげることもできます。

- 条件**
- 研修参加者が原則として20名程度以上確保できること
 - 研修時間を3～6時間程度以上確保できること
 - 研修会場の確保および新型コロナウイルス感染症対策の措置を講じられること
 - 目的意識をもってご御参加いただけるよう全参加者に事前アンケート等へのご協力をいただけること。
- 日程** 日程や研修内容などは、派遣先の希望等に応じて柔軟に対応していきます。

プログラム・デザイン・コース

内容

持続可能な社会づくりへの主体的な参加を促進していくうえで有効な「体験活動」を企画・実践する力を養うことができるように、事業者が提供している「体験活動」を実際に体験したり取組に携わる人と交流したりするほか、得られた気づきや学びを参加者同士で共有するためのグループワーク等を実施します。

対象

学校関係者、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、大学生大学院生等の環境教育・ESDや体験活動、地域づくりに関心のある人

〈体験の機会の場〉

環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された「体験の機会の場」において、体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成が推進されることを目的に設立された「体験の機会の場」研究機構 (<https://esd-place.org/>) と連携して行います。プログラム内容や定員等の詳細については研修公式サイトにてご確認ください。

※体験の機会の場とは、環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された安全性の基準を満たし、質の高い体験プログラムを提供する学習拠点です。

※各回、近隣の主要な駅から無料送迎バスを用意する予定です。

①株式会社相愛

日程 2023年9月2日(土)
会場 株式会社相愛 周辺の里山(高知県高知市)
送迎バス発着場所(予定) 高知駅

②公益財団法人日本生態系協会

日程 2023年10月7日(土)
会場 森の墓苑(千葉県長生郡長南町)
送迎バス発着場所(予定) 茂原駅

③OMソーラー株式会社

日程 2023年10月28日(土)
会場 地球のたまご(社屋と周辺環境)(静岡県浜松市)
送迎バス発着場所(予定) 浜松駅

④公益財団法人キープ協会

日程 2023年11月25日(土)
会場 公益財団法人キープ協会周辺の里山(山梨県北杜市)
送迎バス発着場所(予定) 小淵沢駅

⑤株式会社京都環境保全公社

日程 2024年1月20日(土)
会場 伏見環境保全センター(京都府京都市)
送迎バス発着場所(予定) 京都駅

⑥NPO法人雨煙別学校

日程 2024年3月17日(日)
会場 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス
(北海道夕張郡栗山町)
送迎バス発着場所(予定) 新千歳空港

〈国立公園〉「体験の機会の場」に加え、国立公園における研修も実施いたします。

①日光国立公園

実施団体 NPO法人那須高原自然学校
日程 2023年9月23日(土)
会場 那須高原ビジターセンター(栃木県那須郡那須町)
送迎バス発着場所(予定) 那須塩原駅

②磐梯朝日国立公園

実施団体 NPO法人ホールアース研究所 福島事務所
日程 2023年10月1日(日)
会場 国立磐梯青少年交流の家(福島県耶麻郡猪苗代町)
送迎バス発着場所(予定) 郡山駅



期待される効果の一例 ★両研修とも、参加者同士の交流やつながりも期待できます。

カリキュラム・デザイン・コース

- 学校教職員……授業でどのように環境教育を取り上げたらよいか演習を交えて学ぶことができる。
- 教育委員会……教職員向けの環境教育・ESDの実践研修としても参考になる。
- 行政関係者……環境教育・ESDの現状・課題等を施策等に反映できる。

プログラム・デザイン・コース

- NPO・企業関係者……他団体の体験プログラムを実際に体験し自団体の取組に生かすことができる。
- 行政関係者……体験の機会や体験活動の実践を理解することにより、施策等に反映できる。
- 学校教職員……体験活動の実践や事業者等と連携する方法等について学ぶことができる。

過去参加者からの声

カリキュラム・デザイン・コース

- 他校の参加者とのESDカレンダー作成を通して、総合や特活を軸とするカリキュラムマネジメントについて考えることができた。(小学校教員)
- ESDで児童生徒は変容できることを再確認でき、地域資源をもとにカリキュラム構成する道筋がわかった。(中学校教員)
- 効果的にカリキュラム・マネジメントを行うことで、生徒への学習効果が格段に上がることがはっきりとわかった。(中学校教員)
- 総合的な探究における実践内容を具体例に含めて聞くことができた。(高校教員)
- 教師(学校)・行政・外部の連携の重要性がイメージできた。(教育施設職員)
- ESDカレンダーの必要性を社会情勢をふまえて教えていただいた。(講師派遣の小学校)
- 学年や教科が違って、グループワークでお互いを知ることができて、何を教えたいか、伝えたいかの意見交換ができた。(講師派遣の中学校)
- ディスカッションの中で、他の専門分野との交流の大切さが再確認でき、示唆的だった。(講師派遣の高校)

プログラム・デザイン・コース

- 1人で活動工程、内容を考えることが多いので、他の実践されている教育者、企業の方々のやり方、表現の仕方が見えて参考になった。自分の弱点、ワンパターンな部分も見えた。(NPO等団体)
- 素晴らしい自然に恵まれた場所で、短時間であったが、体験プログラムを実践することができた。学生たちの、自然と人間(社会)の関係をあらためて考えていく契機になる研修だと思った。(学校関係者)
- 今まで知らなかった知識や教授方法を学ぶことができた。また、他の参加者とのネットワークの構築も出来た。(学校関係者)
- 自然について学ぶには座学だけではなく、自分で体験して五感を使ってみることもとても重要であること、また、アイスブレイクにはお互いのことを知るだけでなく、関係性の質の向上というような次の活動をするうえで重要なことを培う役割もあると学んだ。(大学院生)
- 私たちは自然と共にあるということをもっと実感できた。また、年齢や職業が異なる方々と交流し、いろいろな考え方に触れることができたので自分の見ている世界が広がった気がした。環境教育のリーダーに求められる要素についても学び、今後の活動に活かせるようなものをたくさん吸収できた良い1日だった。(大学生)



新型コロナウイルスへの対策については、内閣官房「感染対策インフォメーション」ウェブサイト等により政府又は自治体から提供される情報を適宜御参照いただくとともに、感染が急拡大している時期などには、これまでの取組を参考に感染対策を強化することがございますので御留意ください。

申込方法

研修公式サイト内、各コースの「お申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、送信して下さい。講師派遣型研修のみ、研修運営事務局まで直接メールでご相談ください。

研修公式サイト https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher

研修運営事務局 E-mail: esd-kensyu@jeef.or.jp

申込締切 各研修日の1週間前まで ※定員に達し次第、締切ります。

受講料 無料 ※研修会場・集合場所までの旅費や昼食代等は自己負担となります。



お問い合わせ先

研修運営事務局 公益社団法人日本環境教育フォーラム内(担当: 金久保、中地)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1階

TEL: 03-5834-2897 E-mail: esd-kensyu@jeef.or.jp

※テレワークを実施しています。お問合せはできるだけメールでご連絡ください。